

金屋神社 岡山県神社庁 神社検索システム

由緒

百済王敬福の末裔、百済源次家久が観応2年（1351）3月官命によって、長岡郷に移住し鑄工を始めた。世人はこれを釜屋と呼び、業が大いに盛んになり、人家が集合して一邑をなしたという。当時の釜屋が現在の金屋である。家久は猿田彦神を守護神として祀り金屋権現と称した。明治4年金屋神社と改称し、明治6年村社に列した。昭和24年摂社八幡神社を合祀して相殿に祀っている。

[前の写真へ次](#)

基本情報

神社コード 03006

神社名 金屋神社（カナヤジンジャ）

通称名

旧社格 村社

鎮座地 〒708-0864 津山市金屋128

電話番号

FAX番号

駐車場 有 8台

御祭神 猿田彦大神

御神徳

主な祭典 10月12日：秋季大祭
4月5日：春季大祭
7月20日：夏祭

宮司宅電話 0868-26-3305

URL

e-mail

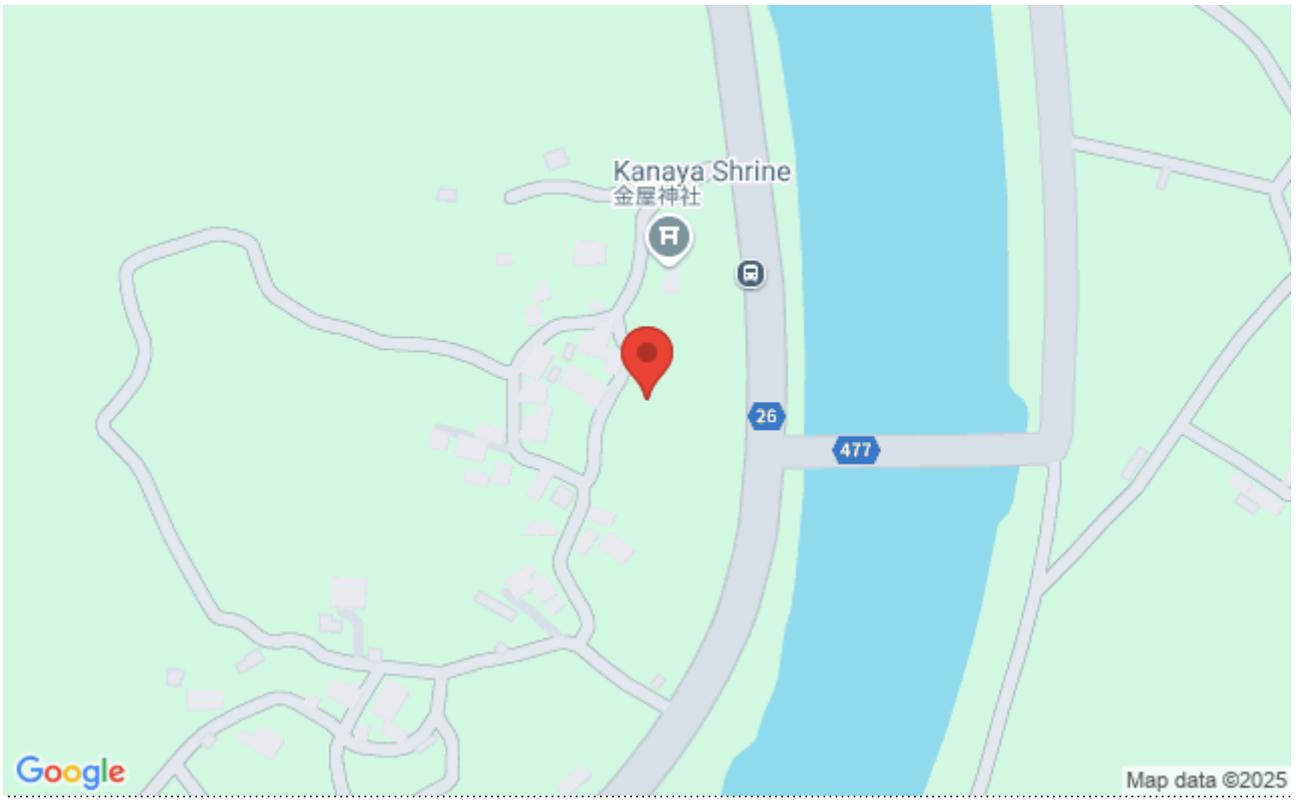
特記事項

氏子地域 津山市（金屋）

交通アクセス

吉井川沿いの県道26号金屋バス停そば

[検索画面に戻る](#)



© 2016 Okayamaken Jinjacho